

松野 孝平 「動・植物プランクトンの群集構造」

水産科学研究院 海洋生物資源科学部門・プランクトン研究室

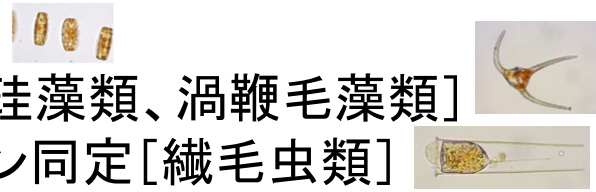
email: k.matsuno@fish.hokudai.ac.jp

内線 5635、研究室HP <http://hu-plankton.jp/>

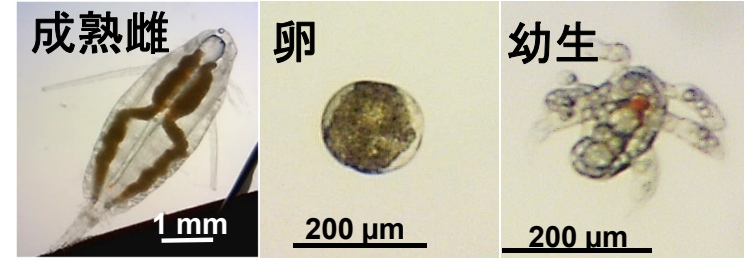
出身地 愛知県

キーワード: 気候変動、プランクトン、群集構造
研究技術

- ・植物プランクトン同定 [珪藻類、渦鞭毛藻類]
- ・マイクロ動物プランクトン同定 [繊毛虫類]
- ・メソ・マクロ動物プランクトン同定
[カイアシ類、ヤムシ類、オキアミ類、端脚類]
- ・生きた動物プランクトンの実験
[産卵実験(研究例①)、排泄実験、摂餌実験など]
- ・データ解析 & モデル
群集構造解析 & 予測 [クラスター(研究例②)、MDS、GDMなど]
個体数変動解析 & 予測 [SEM、GLM、GAMなど]

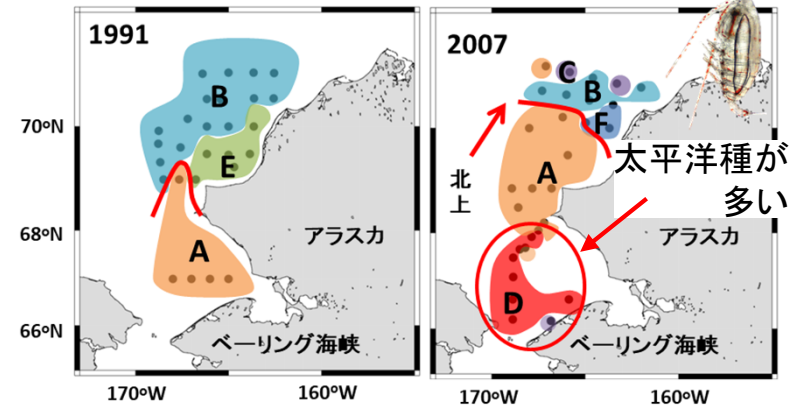


研究例①



↑ 太平洋の種が北極海内で産卵・孵化していることを初発見。

研究例②



↑ 北極海の動物プランクトン群集が近年変化していることを解明。

<社会実装への可能性> (3点以内)

<p>海洋の生物生産モデルを構築し、プランクトンの豊富な良い漁場の分布を予測・発信する</p>	<p>地球温暖化による環境変動が海洋生態系構造へ与える影響を明らかにし、起こりうる変化を予測・発信する</p>	<p>海洋生態系保全のために必要な政策提言への情報提供と、気候変動の緩和策への情報提供を行う</p>
---	---	--